C.A.N. H.E.L.P. Thailand
特定非営利活動法人

キャンヘルプタイランド会報

2021年度(法人7期)　　ネットワーク通信 Vol.92 合併号　　Newsletter Vol.7

会員の皆様、ドナーの皆さま、2021 年度もキャンヘルプタイラントの活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。新型コロナウイルスによるパンデミックが始まり、はや２年となりました。世界中がコロナに翻弄される中、子供たちの教育に支援を続けてくださる皆様に改めて感謝申し上げます。

タイの学校現場は、2021 年はほぼ「オンライン」で始まり、「オンライン」で終わりました。2021 年終わりごろに条件付きで対面授業の許可が下りたものの、実際に対面授業に移行できた学校はごくわずかで、検討しては延期され、登校が発表されては延期が発表されといった繰り返しでした。

2022 年に入ってからは、対面授業を再開する学校も増えてきましたが、感染者が出たら学校閉鎖、学年閉鎖、学級閉鎖と、綱渡りの学校運営が続けられています。

私が勤務する学校でも、2022 年１月から一部学校での対面授業を再開しました。再開には教職員、学生の抗原検査が必要で、ソーシャルディスタンスを取るために着席は１席おきとし、授業中はマスク着用が求められるなど、いくつもの条件が課せられましたが、やはり教師と学生が同じ場所を共有しての授業というのは、オンラインでは得られないメリットが多分にあるのだと再認識させられました。

先日、地域の高校生を招いて日本語や日本文化の授業を丸１日体験してもらうといったイベントを行ったのですが、その際にその高校の先生から聞いた話が印象的でした。こうしたイベントは以前から継続的に行っていたのですが、参加するのは、普段選択授業として日本語は習っているけれども、日本人や日本文化に触れることのない子供達なので、毎回大盛り上がりし、大変楽しんでくれます。しかし、今回は皆大人しく、以前ほどの盛り上がりが見られませんでした。そこで高校の先生に話を聞いたところ、もう２年もオンライン授業を続けていて、おまけにカメラをオフにしたまま授業に参加する生徒がほとんどなので、生徒はお互いのことをあまり知らないと言うのです。授業中、先生はカメラをオンにしているので生徒は先生のことを知っているけれども、先生の方は学生の名前と顔が一致せず、どの子がどんな子かということもよくわからないのだそうです。

長期に渡るコロナ禍が、学校での学習の機会にとどまらず、子ども達同士、また先生とのつながりまで奪ったのかと思うと、悲しくなりました。

幸い、タイ政府はウィズコロナに舵を切ったように思います。入国規制の緩和の流れは日本よりずっと早く、また３月からは感染者の公表を取りやめるとの報道も出始めました。経済の立て直しはもちろんですが、学校現場が少しでもはやく元のような学びや他者とのつながりの場になるよう願ってやみません。キャンヘルプタイランドとしても、そうした教育支援に引き続き取り組んでいきたいと思います。

今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長　西川 弘達

もくじ

1、活動一覧 ・・・・・・・・・・・・・ 2ページ
2、建設プログラム ・・・・・・・・・ 3ページ
3、奨学金プログラム ・・・・・・・・ 3ページ
4、すみれ基金 ・・・・・・・・・・・・ 4ページ
5、山岳少数民族支援 ・・・・・・・・ 5ページ
6、ランチプログラム ・・・・・・・・ 5ページ
7、図書支援 ・・・・・・・・・・・・・ 5ページ
8、カンボジア緊急支援 ・・・・・・・ 6ページ
9、国内活動 ・・・・・・・・・・・・・ 6ページ
10、会計報告 ・・・・・・・・・・・・ 7ページ
11、理事運営委員紹介 ・・・・・・・・ 8ページ
12、ご寄付のお願い ・・・・・・・・・ 8ページ
13、会員募集と継続のお願い ・・・・ 8ページ

1、活動カレンダー（法人第７期） 2021年2月1日~2022年1月31日

日　付	内　容	場　所	プログラム
2月27日（土）	ステファニ・レナト賞奨励賞授賞式	ウイルあいち	運　営
3月6日（土）	会計監査	事務所	会　計
3月27日（土）	NGOオンリーワン戦略講座受講	オンライン	運　営
3月28日（日）	総会・第1回理事会	オンライン	運　営
4月14・15日	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修1	オンライン	運　営
4月17日（土）	運営委員会	オンライン	運　営
4月19日（月）	NGOオンリーワン戦略講座受講　発表会	オンライン	運　営
5月8日（土）	プロボノ説明会	小牧市	運　営
5月20日（木）	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修2	オンライン	運　営
6月28日（土）	運営委員会	事務所	運　営
6月23・24日	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修3	東京	運　営
7月31日（土）	第2回理事会	事務所	運　営
8月3日（火）	ボラマッチ説明会	愛知大学	運　営
8月12日（木）	カンボジア奨学金授与式開催（スタッフ不参加）	カンボジア	奨学金
	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修4	オンライン	運　営
9月25日（土）	運営委員会	事務所	運　営
9月1・2日	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修5	オンライン	運　営
10月23日（土）	第3回理事会	オンライン	運　営
10月24日（日）	翻訳会	名古屋国際センター	奨学金
10月26日（火）	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修6	オンライン	運　営
10月31日（日）	翻訳会	名古屋国際センター	奨学金
11月20日（土）	おおしま国際絵本コンクール授賞式参加	富山県射水市	図　書
11月27日（土）	運営委員会	事務所	運　営
12月1・2・3日	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修7	オンライン	運　営
12月3日（金）	シェアオフィス会議参加	事務所	運　営
12月4日（土）	ボラマッチなごや2021参加	愛知大学	運　営
12月11日（土）	国際協力カレッジ参加	オンライン	運　営
1月22日（土）	第4回理事会	事務所	運　営

2022年度（活動予定）

2月19日（土）	第1回理事会	事務所	運　営
2月14日（月）	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修8	オンライン	運営
3月9・10日	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修9	横浜	運　営
4月3日（日）	運営委員会、総会、第2回理事会	事務所	運　営
4月5日（火）	名古屋千種ロータリークラブ例会	名古屋東急ホテル	運営
5月	運営委員会	事務所	運営
6月	奨学金授与式（未定）	タイ・カンボジア	奨学金
7月	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修10	オンライン	運　営
8月3・4日	NGOによる住民主体型プロジェクト受講　研修11	オンライン	運　営
8月	愛知大学ボランティアツアー（未定）	タイ	運　営
9月~10月	奨学金資料翻訳会	事務所	奨学金

※運営委員会は毎月第4土曜に開催予定

2、建設プログラム

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の為、建設プログラムは実施されませんでした。
2022 年度は、引き続きタイやカンボジアでの建設事業の実施を目指していきます。
今年度も建設プログラムへの指定寄付は、次年度以降の事業へ繰り越させていただきます。

3、奨学金プログラム

タイ奨学金プログラム

２０２１年度は中学生１４名を含め 61 名の学生を支援いたしました。昨年度からの繰越金４万円と今年度１２月３日現在皆様からご寄付頂いた金額 55 万円と、不足した 40 万円は「指定なし寄付金」を充当させていただきました。なおその後にご寄付を頂きました４万円を次年度に繰越させていただきました。
今年度もコロナの影響で授与式を実施できなかった為奨学生に対しては、子供達名義の口座への送金で支援を実施しました。
今年度の支援は昨年度の 74 名から 13 名減となりました。なお中学生 14 名を除く 47 名の内成績が 2.0 以下だった子と課題を未提出に終わった子が９人いたため後期分の支援は 38 人となりました。

・奨学生の内訳（カッコ内は昨年比）

＊ムクダハーン県　…　17 名（-2）　　＊ナコンパノム県　　…8 名（-2）
＊カラシン県　　…１０名（-3）　　＊マハサラカーム県　…１２名（-5）
＊ロイエット県　…１４名（-1）

・申請書類や手紙の翻訳会

昨年に続き愛知県に在住のタイ人と日本人の協力で 10 月 24 日（日）と 31 日（日）に名古屋国際センター会議室にて翻訳会を実施し、翻訳した申請書類や手紙は１２月にドナーの皆様にお送りいたしました。

・クリスマス＆年賀カードの送付

今年も１２月中旬に奨学生 61 名にカードを送りました。ドナーの皆様にお送りする書類と手紙は「使途が見える支援」を実現する事を目的としています、一方の奨学金の側からすると「キャンの誰が支援してくれたか」が分かっていませんので、「支援してくれる人の顔が見える支援」を実現するためにもドナーの皆様に限らずどなたでも奨学生宛に絵葉書や手紙を書いていただく事が「この人達が支援してくれた」と実感できるようになりますので、皆様からの絵葉書やお便りをお待ちしています。（事務局へお送り頂きますればタイ語に翻訳して奨学生に送ります）

カンボジア奨学金プログラム

本年度は、小学校１年生～3 年生の各学年 10 名、合計 30 名の子ども達へ 80 ドルずつ、計 2,400 ドルの支援を行いました。

本来なら、タイでの奨学金授与式と一緒に現地で授与式を行う予定でしたが、海外渡航ができなかったので、こちらも、現地教育委員会のアンさんへ送金し、８月 12 日に授与式を実施して頂きました。

４、すみれ基金（大学生奨学金）

2021 年の大学生奨学金は、以下の１名の大学生奨学金支援を実施しました。

残り１名の支援を実施し、すみれ基金大学生奨学金は終了となります。

Orathai　Muelae　オラタイ（女）メーファールアン大学看護学部２年生。 （２０２３年７月に卒業する予定です）

5、山岳部少数民族支援プログラム

例年なら、愛知大学の学生を連れて山岳少数民族の子ども達のための学生寮「カサロンの家」を訪問し、支援も行ってきましたが、今年度はツアー自体が中止となり、「カサロンの家」への支援はできませんでした。

昨年度の支援（カサロンの家新女子寮２階内装工事）が完了しましたので報告いたします。

2020 年度に下記建設費の一部 133,600 バーツ（約 47 万円）を支援しました。

カサロンの家新女子寮総建設費

年	内容	費用
２０１８－１９年	基礎工事	250,379 バーツ
２０２０年	屋根、壁、床、電気工事	480,406 バーツ
２０２１年	２階の壁、天井、床、電気、水道工事	352,766 バーツ
	合計	1,083,551 バーツ（約 350 万円）

6、ランチプログラム

２021 年度のランチプログラムは、山岳少数民族の子ども達のための学生寮「カサロンの家」への米購入金支援（4 万バーツ）を行いました。「カサロンの家」では、自分たちで米も栽培していますが、姉妹寮の「希望の家」と合わせると１日で約 10 キロの米を消費し、自給自足には程遠い状況です。子ども達のためには、年間３トン以上の米を必要としますが、４万バーツ（約 15 万円）の支援で約２トンの米を購入することができ、寮での年間の米消費量の半分以上を賄うことができます。

7、図書支援プログラム

2021 年度、富山県射水市で開催された「おおしま手作り絵本コンクール」にタイから３作品を出品致しました。その結果、１作品が奨励賞（NHK 富山放送局長賞）を受賞し、１作品が入選しました。

	作品名	作者	学年	受賞
1	私の村	ソーピッスダーさん	高２	奨励賞（NHK 富山放送局長賞）
2	ボーイスカウトキャンプ	パウィダーさんとミンモンコルさん	高２	入　選
3	長い川	パウィニーさん	中２	な　し

表彰式は、11 月 20 日（土）に富山県射水市のおおしま絵本館で開催されました。

8、カンボジア緊急支援プログラム

2021 年度もカンボジアへの緊急支援金の送金を断念しました。現地の状況や支援方法の妥当性を見極め、支援実施可能なタイミングになりましたら、支援を再開したいと考えます。よって、今年度のカンボジア緊急支援への指定寄付金は、来年度へ繰越させていただきます。ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2020 年の洪水の様子→

9、国内活動

○国内研修

JICA による 2020 年度 NGO 等提案型プログラム　特定非営利活動法人ムラのミライ「ＮＧＯによる住民主体型プロジェクト形成・実施のための方法論と技能研修」をスタッフ２名で受講しています。2021 年４月～2022 年８月までの全 11 回の講座ですが、住民主体の支援とは何かを事実質問の仕方を踏まえみっちりと勉強しています。

前回の NGO オンリーワン戦略講座と今回の講座で吸収したことを合わせて、より良い活動へとつなげていきたいと考えていますので、今後のキャンヘルプタイランドにご期待ください。

○国際協力カレッジ（オンライン）

毎年 12 月に名古屋 NGO センター主催で行われる「国際協力カレッジ」に今年も参加しました。

例年なら JICA 中部で開催されるイベントですが、今年もオンラインでの開催となりました。当会の活動に興味を持ってくれた２名の方が、個別のブレイクアウトルームを訪問してくれました。今後の運営スタッフへの参加を期待したいです。

○ボラマッチなごや 2021（愛知大学）

コロナ感染者数が少し落ち着いてきた 12 月４日に愛知大学名古屋校で名古屋市主催の「ボラマッチなごや 2021」が開催されました。当日は、カレーハウス CoCo 壱番屋の創設者の宗次（むねつぐ）さんの基調講演などがあり、来場者 100 名以上の大盛況となりました。参加団体は各自ブースを作り、来場者の中で団体に興味のある人が各ブースを訪問するという形で実施されました。キャンヘルプタイランドのブースにもたくさんの方々に来ていただき、活動を PR できました。

プレ企画として動画の配信がありました

ブースの様子

10、会計報告（2021 年度）

活動計算書

2021 年 2 月 1 日 ～ 2022 年 1 月 31 日 まで

（単位:円）

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1.受取会費	96,000		
		96,000	
2.受取寄付金			
(1)タイ			
奨学金事業	550,000		
建設事業	15,000		
給食事業	115,000		
図書支援事業	13,000		
山岳部少数民族事業	55,000		
(2)カンボジア			
奨学金事業	130,000		
緊急支援	15,000		
(3)その他寄付金			
指定なし寄付金	441,000		
		1,334,000	
3.運営経費寄付金	24,000		
		24,000	
4.受取助成金等			
ステファニレナト賞	100,000		
		100,000	
5.その他収益			
受取利息	10,581		
		10,581	
経常収益計			1,564,581
Ⅱ 経常費用			
1.事業費			
(1)その他経費			
タイ奨学金事業	1,196,027		
タイ建設事業	454,240		
タイ図書支援事業	14,200		
タイ給食事業	136,000		
カンボジア奨学金事業	274,676		
為替差損	30,941		
		2,106,084	
2.管理費			
(1)その他経費			
諸会費	10,000		
印刷製本費	8,500		
通信運搬費	49,676		
消耗品費	2,025		
賃借料	33,000		
支払手数料	1,932		
		105,133	
経常費用計			2,211,217
当期正味財産増減額			△ 646,636
前期繰越正味財産額			15,869,230
次期繰越正味財産額			15,222,594

貸借対照表

2021 年 2 月 1 日 ～ 2022 年 1 月 31 日 まで

（単位:円）

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,222,594		
流動資産合計		15,222,594	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			15,222,594
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		15,869,230	
当期正味財産増減額		△ 646,636	
正味財産合計			15,222,594
負債及び正味財産合計			15,222,594

財産目録

2022 年 1 月 31 日現在

（単位:円）

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
郵貯銀行	4,112,394		
UFJ 銀行ｷｬﾝ	7,298,551		
UFJ 銀行西川	336,002		
バンコク銀行	3,475,647		
流動資産合計		15,222,594	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			15,222,594
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			15,222,594

令和 4 年 3 月 3 日、久保氏に監査を受けました。

11、2022 年度の運営委員と理事の紹介

今年度は、特定非営利活動法人キャンヘルプタイランドとして以下のような体制で運営いたします。

引き続き運営委員の募集を行っていますので、興味のある方は是非ご参加ください。

運営委員	西川　弘達（理事長）	大矢　治夫	大矢　まゆ美（理事）
	坂　茂樹（副理事長）	松本　康裕（理事）	大矢　由布子
	藤井　佳奈（理事）	寺島　優美（理事）	横江　隆弘

12、ご寄付のお願い

各プログラムへのご寄付をよろしくお願いいたします。ご協力くださる方は、同封の振込用紙もしくは郵便局に備え付けの振込用紙を使用いただき、必要事項をご記入の上お振込み下さい。

尚、寄付金の使途の指定がない場合は、こちらで必要なプログラムで使用させていただきますのであらかじめご了承ください。

奨学金プログラム	１口	10,000 円
ランチプログラム	１口	5,000 円
建設プログラム	１口	5,000 円
図書支援プログラム	１口	1,000 円
山岳民族支援プログラム	１口	10,000 円
カンボジア支援プログラム	１口	5,000 円
運　営　基　金	１口	1,000 円
会　　費　※	１年	3,000 円

※　会員制度とは…

会員になっていただいた方には、年２回「ネットワーク通信」をお送りし、キャンヘルプタイランドの活動やイベント情報、タイにまつわるいろいろな情報をお伝えしていきます。年 1 回、会費 3,000 円をお振込みください。

寄付金・会費のお振込みは…

＜郵便振替口座＞

口座名：NPO キャンヘルプタイランド　　番　号：00280 - 2-43793

13、会員募集と継続のお願い

キャンヘルプタイランドでは、会の運営を円滑にするために運営費を支えていただける「会員」を募集しています。多くの NPO が寄付金の１５～３０％もの運営経費で運営されているのに対して、私たちは、わずか５％の経費しか計上していません。従って会員の皆さんの会費（年額３，０００円）で運営費の不足分を補っているのが現実です。会員の皆さんには年２回の「ネットワーク通信」で活動の詳細をお伝えすると共に、各種行事のご案内もいたします。皆様のご協力をお待ちしております。

お問い合わせ先

住所：〒450-0001

愛知県名古屋市中村区那古野 1-44-17　嶋田ビル 203

キャンヘルプタイランド事務局

TEL＆FAX：052-566-5131

（事務所開設時間不定期　来所の事前予約必要）

E メール：office@canhelp.jp

URL：http://canhelp.jp

特定非営利活動法人

キャンヘルプタイランド会報

Vol.7

ネットワーク通信 Vol.92　合併号

発行：ＮＰＯキャンヘルプタイランド

発行人：西川　弘達

編集人：坂　茂樹

発行日：2022 年３月